



くっつきと湯気を上げるヒロヤス鍋

消防広域化道が支援

十勝圏事務組合 職員派遣を要請

十勝管内19市町村で進める消防広域化が、道「広域化重点地域」に指定された。広域化を進める十勝圏複合事務組合(事務局・帯広市)は支援の一環として、本年度以降、道に事務職員を派遣するよう要請した。

重点地域は広域化に向けて積極的に取り組むなど、過疎化などで十分な消防体制が維持できない恐れがある地域が対象。道は助言や国の財政支援等を活用するため、必要な調整などを行う。

指定は昨年12月12日。同組合が道に要請した職員派遣は1人で、4月から2年間。広域化後の新組織で運用する規約の策定などを中心に担当してもらいたいという。

道は広域化を推進し

進んでいない。参加自治体が多く、管轄面積が大きい十勝で成功すれば、他地域での進展にも影響する可能性がある。同組合は「派遣を実現させて、広域化の円滑な推進につなげたい」としている。

(岡高史)

トド間丘こ冬の観察ツアー

帯広市

ヒロヤス鍋



④

しょうゆベースのたれを敷いた底の浅い鍋に、豚ホルモンや鳥のこにくを入れ、その上にどっさりの刻み長ネギ。くっつきと煮込むと、体が芯から温まる鍋のできあがりだ。

帯広市内の焼き肉居酒屋「串ぼうず」の名物料理で、長野五輪のスピードスケート男子500円金メダル清水

具だくさん 願いは「金」

宏保さんにちなみ「ヒロヤス鍋」と名付けられた。

清水さんの後援会幹事で、同店を経営していた故加藤裕さんが考案した。現役時代、清水さんは帰省すると店に顔を見せ、この鍋で英気を養ったという。

裕さんは2011年に死去し、現在、妻の光子さんが切り盛りする。ソチ五輪が目前に迫る。「十勝からも多くのスケーターが出場する。清水さんのように、熱く、燃えて頑張ってほしい」。光子さんは、そう願って今日も、裕さんの思いのこもったのれんを守る。

(写真と文 金田淳)

拳銃などを確認した年頭点検



た動作で取り出し、幹部が点検した。

内山本部長は「昨年は一人一人の努力で各部門で成果があった。今年も存分に力を発揮して治安の維持に努めてほしい」と訓示した。

(大沢祥子)

寺7115517